

井原 修

いはら おさむ

警察・商工労働委員会 産業競争力強化対策特別委員会

東広島市西条朝日町13-31
[TEL] 082-422-0555 [FAX] 082-422-0655
E-mail: ihara@vanilla.ocn.ne.jp

〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会「広志会」控室
[TEL] 082-513-4620 [FAX] 082-223-0185
広志会ホームページ http://koshikai.jp

広志会 議員	会長 城戸常太〔呉市〕 建設委員会 少子化・次世代育成対策特別委員会	砂原克規〔広島市西区〕 総務委員会 地方創生・行財政対策特別委員会	宮本新八〔山県郡〕 農林水産委員会 平和推進・地域魅力向上対策特別委員会	佐藤一直〔広島市中区〕 文教委員会 社会基盤整備対策特別委員会
-----------	--	---	--	---------------------------------------



人口減少、東広島市は大丈夫!?

日本全国で人口減少が大きな問題として取り上げられる中で、この事により生ずる様々な問題を、遠い将来の事とせず、しっかりとした現状把握をした上で、計画的に進めていく事が求められます。こうした観点から、東広島市における事項を中心に取り上げてみます。

1 労働の場の確保

人が生活するにはお金を得る就労の場が必要ですが、企業誘致や立地には、まず企業に良好な適地が求められます。しかし現在、東広島市に於いては、それが十分でない状況にあります。

その原因の一つが、都市計画法による一律的な開発規制が一因にあるといわれています。これは以前、乱開発が行われていた頃の規制法です。乱開発は当然規制をかける必要はありますが、しっかりとした開発目的を示し、技術基準が守られた開発は行われるべきです。企業立地だけでなく定住希望者にも優良な宅地提供ができ、地域活性化のためにもなります。

2 子育て環境の充実

快適な住環境の柱はいくつかありますが、永続的にこの地に住むためには、子育ての環境の充実が欠かせません。保育所の待機児童の解消はもとより、子どもたちの健康を維持するための機能確保及び財政的支援を、国の支援を超えて積極的に行っていく必要があります。



3 医療の充実

現状の地域医療に対する期待感や不安感が、さまざまな意見として出されています。当地域は広島市から比較的

近く、以前から医療の一部を広島市に依存してきた所があります。しかし近年、医療環境も大きく変わり、求められるものも変わってきています。地域の中でしっかりとした医療を提供できる体制を作り上げるために、官民一体となって取り組んでいく必要があります。

4 高齢化に対する早急な対策を!

長寿命化の中で、高齢化率が上がってくるのは当然です。そうした中で、日々介護費が上がると、医療費が上がることを嘆くばかりでは何の解決にもなりません。広島県の現状は、健康寿命が全国道府県順位が男性で33位、女性は、何と46位なのです。これでは「長寿」本来の意味は半減です。いまずぐに健康寿命を伸ばしていく施策を、地域と一体となって進めていかなくてはなりません。

5 地域交通整備

経済活動をスムーズに行うための物流整備は進められてきましたが、地域内の循環交通の不十分さが顕著になり、早急な整備が求められています。過疎と過密が急速に進み、併せて高齢化による交通弱者の

住んでみたい、暮らしてみたい広島県に

看板倒れを危惧する県施策

人口減少、少子高齢化、グローバル化などの変化が進む中、本県の目指す将来像として6つの柱を策定し、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の取り組みを始めようとしています。主な重点施策は

- (1) 新たな経済成長 人づくり
- (2) 安心な暮らしづくり
- (3) 豊かな地域づくり
- (4) 災害に強いまちづくり
- (5) 広島県の価値の共鳴・共振
- (6) 広島県の価値の共鳴・共振

です。確かにどれも大切な施策で、いい感じのキャッチフレーズに包まれています。ところが現実には具体的な施策も示されず、そのアクションプランさえ、いまだに出来ていないのです。取り敢えず骨組みのジャンルを創り、県民を巻き込もうとする姿勢には納得できません。

具体的取り組みが課題

広志会が強く意見するのは、施策には具体的に実現性あるプランとプロセスを示すべきであり、格好いい言葉やイメージ先行で中身の薄い取り組み



左から宮本・井原・城戸会長・佐藤・砂原の各県議

は将来への危ない一歩になると信じるからです。納得できる内容を求めます。県民は確実に減少している

中面に特集した「広島県の人口減少」への対策は喫緊の課題ですが、本県に移住を考えている方の不安は、「一定の収入が確保できるか」「移住の費用や移住後の生活費は」という点が他県より大きいようです。アンケート／ひろぎん経済研究所
これからの私たちの生活形態は徐々に様式を変えていきます。例えばロボットによる暮

着実な取り組みと提案を

人口減少対策は、夢と希望を感じさせる手法だけでなく、今後の社会環境の変化を取り込んだ実効性の高いプランを構築し、県全体で臨んでいく必要があります。定住人口増加の可否は、広島県政の成績表として県民に公開すべきだと思います。広志会は「住んでみたい、暮らしてみたい広島県」をテーマに掲げ、介護、年金の課題や、数ある県の債務負担案件等にも、県民に納得のいく説明を求めていきます。

創造力

